

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	ニコチン-d <sub>3</sub>
SDS コード	:	Q5-01
供給者の会社名称	:	
林純薬工業株式会社		
住所	:	大阪府大阪市中央区内平野町 3 丁目 2 番 12 号
電話番号	:	06-6910-7305
E-mail	:	shiyaku_kikaku@hpc-j.co.jp
URL	:	https://direct.hpc-j.co.jp/
緊急連絡電話番号	:	06-6910-7305
推奨用途	:	試験研究用
使用上の制限	:	試験研究以外の用途には使用しない事。人体又は動物用の医薬品、食品、家庭用品、化粧品等には使用しない事。環境中に使用しない事。

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

物理的危険性	爆発物	区分に該当しない	
	可燃性ガス	区分に該当しない	
	エアゾール	区分に該当しない	
	酸化性ガス	区分に該当しない	
	高圧ガス	区分に該当しない	
	引火性液体	区分に該当しない	
	可燃性固体	区分に該当しない	
	自己反応性化学品	区分に該当しない	
	自然発火性液体	区分に該当しない	
	自然発火性固体	区分に該当しない	
	自己発熱性化学品	分類できない	
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない	
	酸化性液体	区分に該当しない	
	酸化性固体	区分に該当しない	
	有機過氧化物	区分に該当しない	
	金属腐食性化学品	分類できない	
	鈍性化爆発物	区分に該当しない	
	健康有害性	急性毒性 (経口)	区分 1
		急性毒性 (経皮)	区分 1
		急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入: 蒸気)		分類できない	
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)		分類できない	
皮膚腐食性/刺激性		区分 2	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		区分 1	
呼吸器感作性		分類できない	
皮膚感作性		区分に該当しない	
生殖細胞変異原性		区分 2	
発がん性		分類できない	

	生殖毒性	区分 2
	生殖毒性(授乳に対する又は授乳を介した影響)	追加区分
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 1(消化管, 神経系, 心臓血管系)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分 2
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分 2
	オゾン層への有害性	分類できない

絵表示  
(GHS JP)



GHS05



GHS06



GHS08



GHS09

注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

危険有害性 (GHS JP)

: 飲み込んだ場合や皮膚に接触した場合は生命に危険 (H300+H310)  
 皮膚刺激 (H315)  
 重篤な眼の損傷 (H318)  
 遺伝性疾患のおそれの疑い (H341)  
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い (H361)  
 授乳中の子に害を及ぼすおそれ (H362)  
 臓器の障害(消化管、神経系、心臓血管系) (H370)  
 長期継続的影響によって水生生物に毒性 (H411)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)  
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)  
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)  
 眼、皮膚、衣類につけないこと。(P262)  
 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。(P263)  
 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)  
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)  
 環境への放出を避けること。(P273)  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

応急措置

: 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)  
 皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと。(P302+P352)  
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用してい  
 て容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。(P308+P311)  
 直ちに医師に連絡すること。(P310)  
 口をすすぐこと。(P330)  
 皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。(P332+P313)  
 汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
 (P361+P364)  
 漏出物を回収すること。(P391)

保管

: 施錠して保管すること。(P405)

廃棄

: 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。  
 (P501)

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS RN
			化審法番号	安衛法番号	
ニコチン-d <sub>3</sub>	≥95%	C10D <sub>3</sub> H11N <sub>2</sub>	(9)-990	8-(1)-675,8-(1)-1010	1173021-00-5

上記濃度又は濃度範囲は、規格値ではありません。

上記濃度又は濃度範囲に記載の%は、個別表記があるものを除き、全て重量%となります。

### 4. 応急措置

#### 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
直ちに医師に診断／手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。  
多量の水と石鹼で優しく洗うこと。  
直ちに医師に診断／手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用してい  
て容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
直ちに医師に診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。  
直ちに医師に診断／手当てを受けること。

### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、泡消火剤、乾燥粉末消火剤、二酸化炭素、砂
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
- 爆発の危険 : 加熱により、容器が爆発するおそれがある。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 火災時に刺激性もしくは有毒なフュームまたはガスを発生する。
- 消火方法 : 着火した場合、初期消火は、火元(燃焼源)を断ち、適切な消火剤を用いて一挙に  
消火する。  
周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。  
移動不可能な場合、容器及び周囲の設備等に散水し、冷却する。  
消火に使用した水が環境中に流出しないようにする。  
消火後も大量の水を用いて容器を冷却する。
- 消火時の保護具 : 消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服(耐熱性)を着用する。

### 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。  
関係者以外の立ち入りを禁止する。  
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。  
作業の際には、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、必ず適切な  
保護具を着用し、風下で作業行わない。

#### 環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。  
下水道や公共用水域への侵入を防ぐ。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 浄化方法 : 漏出は、吸収剤を使用してできるだけ素早く回収する。  
できるだけ液体漏出物は密閉容器に回収する。  
回収跡は多量の水で洗い流す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用して作業する。

漏れ、あふれ、飛散しないように取扱い、ミスト、蒸気の発生を少なくし、換気を十分にする。

安全取扱注意事項 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗いうがいをする。

作業所の十分な換気を確保する。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

接触回避 : 長時間または反復の暴露を避ける。

### 保管

安全な保管条件 : 施錠して保管すること。

直射日光を避け、換気の良い場所に保管する。容器を密閉し、火気、熱源より遠ざける。

安全な容器包装材料 : 遮光した気密容器。

技術的対策 : 適用法令を遵守する。

保管温度 : 冷蔵保管: 2~10℃

## 8. ばく露防止及び保護措置

ばく露限界値	
ニコチン	
許容濃度(ACGIH)	TWA 0.5 mg/m <sup>3</sup> , STEL - (Skin)

設備対策 : 取扱場所での発生源の密閉化、または局所排気装置、全体換気装置の設置。取扱場所の近くに安全シャワー、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

### 保護具

皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性前掛け、不浸透性作業衣、保護長靴

眼の保護具 : 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

手の保護具 : 不浸透性保護手袋

呼吸用保護具 : 防毒マスク

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
外観	: 液体
色	: 無色 ~ 淡い黄色
臭い	: 特異臭
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: 1.01 g/cm <sup>3</sup> (ニコチンとして)
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし

n-オクタノール/水分配係数(Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の取扱い条件では安定である。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 日光、熱
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 窒素酸化物

## 11. 有害性情報

ニコチン	
急性毒性 (経口)	【分類根拠】ヒトでの経口摂取による致死量は 30～60 mg (CLH Report (2015))、50～60 mg (ACGIH (7th, 2001)) または約 60 mg (MAK (DFG) (2014)) と概算されると記述があり、ヒトの経口致死量は 1 mg/kg を下回ると判断されることから、区分 1 とした。【根拠データ】(1) ヒトの概算致死量: 30～60 mg (CLH Report (2015))(2) ヒトの概算致死量: 50～60 mg (ACGIH (7th, 2001))(3) ヒトの概算致死量: 約 60 mg (MAK (DFG) (2014))
急性毒性 (経皮)	【分類根拠】(1)～(5) より、区分 1 とした。【根拠データ】(1) ウサギの LD50: 50 mg/kg (EU CLP CLH (2015)、MAK (DFG) (2014)、GESTIS (Access on June 2020)、HSDB (Access on June 2020))(2) ウサギの LD50: 140 mg/kg (EU CLP CLH (2015))(3) ラットの LD50: 140 mg/kg (CLH Report (2015)、MAK (DFG) (2014)、HSDB (Access on June 2020))(4) ラットの LD50: 150 mg/kg (GESTIS (Access on June 2020))(5) ラットの LD50: > 360 mg/kg (CLH Report (2015))
急性毒性 (吸入:気体)	【分類根拠】GHS の定義における液体であり、区分に該当しない。
急性毒性 (吸入:蒸気)	【分類根拠】データ不足のため分類できない。(1) のデータがあるが、タバコを 20 分間ばく露した試験結果から算出した値であるため、参考データとした。なお、ばく露濃度が飽和蒸気圧濃度 (50 ppm) の 90% よりも低いいため、ミストがほとんど混在しないものとして ppm を単位とする基準値を適用した。【参考データ】(1) ラットの LC50 (4 時間): > 0.114 mg/L (> 17 ppm) (EU CLP CLH (2015))(2) 本物質の蒸気圧: 0.038 mmHg (25°C) (HSDB (Access on May 2020)) (飽和蒸気圧濃度換算値: 50 ppm)
急性毒性 (吸入:粉末)	【分類根拠】データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:ミスト)	データなし
皮膚腐食性/刺激性	【分類根拠】(1)～(3) より、区分 2 とした。新しいデータ (1)～(3) が得られたことから分類結果を変更した。【根拠データ】(1) 本物質は局所刺激性を有する (Patty (6th, 2012))。 (2) 本物質は皮膚刺激性を有する (GESTIS (Access on June 2020))。 (3) 本物質のウサギを用い OECD TG 402 に準拠した急性経皮投与毒性試験において、軽度～重度の紅斑がみられ、腐食性はないが刺激性を有すると結論されている (REACH 登録情報 (Access on September 2020))。 【参考データ等】(4) 本物質を含むパッチ (禁煙補助薬) により、一部のボランティアに紅斑がみられたと報告されている (MAK (DFG) (2014))。
眼に対する重篤な損傷又は刺激性	【分類根拠】(1)～(4) より、区分 1 とした。新しいデータ (1)～(4) が得られたことから分類結果を変更した。【根拠データ】(1) 本物質の OECD TG 405 に準拠した眼刺激性試験において、結膜発赤及び浮腫、虹彩炎、角膜混濁がみられ、結膜の炎症及び角膜混濁は適用 21 日後まで持続し、腐食性物質と結論されている (REACH 登録情報 (Access on September 2020))。 (2) 本物質は前眼部の炎症と縮瞳を引き起こす (Patty (6th, 2012))。 (3) 本物質との接触は眼の痛み、顕著な結膜炎、角膜の炎症及び部分的な混濁を引き起こす (GESTIS (Access on June 2020))。 (4) OECD TG 492 に準拠し、再生ヒト角膜上皮 (EpiOcular TM) を用いた in vitro 眼刺激性試験において、平均細胞生存率は 3.1% であり、区分 1 或いは 2 相当と推察された (REACH 登録情報 (Access on September 2020))。【参考データ等】(5) OECD TG 437 に準拠し、ウシ角膜を用いた in vitro 眼損傷性試験 (BCOP) において、平均刺激性スコア (IVIS) は 29.518 であり、区分 1 は否定された (REACH 登録情報 (Access on September 2020))。

ニコチン	
呼吸器感受性	【分類根拠】データ不足のため分類できない。
皮膚感受性	【分類根拠】(1) より、区分に該当しないとされた。新しいデータが得られたことから分類結果を変更した。【根拠データ】(1) TG 429 に準拠したマウス局所リンパ節試験 (LLNA) において SI 値は 3 を上回らず、陰性と判定された (REACH 登録情報 (Access on September 2020))。
生殖細胞変異原性	【分類根拠】(1)、(2) より、区分 2 とした。新たに得られたデータをもとに分類結果を変更した。【根拠データ】(1) in vivo では、マウスの優性致死試験において陰性を示したが、マウスの骨髄細胞を用いた小核試験において陽性の報告がある (MAK (DFG) (2014)、Patty (6th, 2012))。 (2) in vitro では、細菌の復帰突然変異試験において陰性の報告があるが、哺乳類培養細胞を用いる染色体異常試験及び姉妹染色分体交換試験において陽性、陰性の報告がある (同上)。
発がん性	【分類根拠】データがなく分類できない。
生殖毒性	【分類根拠】(1)~(4) より、区分 2 とした。また、(5) より「授乳に対する又は授乳を介した影響」を追加した。なお、再検討した結果、旧分類から分類結果を変更した。【根拠データ】(1) ラットを用いた吸入ばく露による反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験 (OECD TG 422) において、親動物毒性 (体重増加抑制、摂餌量減少、肝臓の肝細胞壊死、水腫様変性、ストレスによる副腎皮質肥大、胸腺萎縮及び子宮萎縮) がみられる用量で、生殖影響はみられていないが不規則な性周期、児動物の体重低値がみられている (REACH 登録情報 (Access on October 2020))。 (2) 雌マウス、ラット及びウサギの器官形成期に皮下投与した試験において、母動物毒性 (体重増加抑制、摂餌量減少) がみられる用量でマウス、ラットでは胎児に未骨化がみられたがウサギでは胎児に影響がみられていない (Patty (6th, 2012))。 (3) 雌ラットの妊娠 4~20 日に 6 mg/kg/day を皮下投与した結果、母動物に体重増加抑制、児動物に体重減少及び脳の未発達がみられた (ACGIH (7th, 2001))。 (4) 雌ラットの交配 6 週間前から妊娠期間中に 6 mg/kg/day を投与し、生後 12 時間で対照群の雌で交差飼育した新生児において、雌雄で副腎重量減少、雄で出生児体重減少、胎児/腹減少、活動の低下がみられている (MAK (DFG) (2014))。 (5) ラットでの妊娠・授乳期間に投与した試験では、母乳の分泌が著しく減少したため、大部分の出生児が死亡した (Patty (6th, 2012))。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	【分類根拠】(1)~(6) より、区分 1 (神経系、心血管系、消化管) とした。なお、標的臓器を再検討し、旧分類から分類結果を変更した。【根拠データ】(1) 急性ニコチン中毒の一種である緑色タバコ病の多数の症例が、タバコの葉を収穫中に労働者が吸収したニコチンへの皮膚ばく露後に報告された。この疾患はわずかに数時間後に起こることがあり、短期間みられる。吐き気、嘔吐、脱力、めまい、血圧や心拍数の変化が特徴である (MAK (DFG) (2014))。 (2) 本物質 78 mg の経皮パッチを 12 名の男性ボランティアの腕、胸及び背中に交互に 24 時間以内適用した結果、心拍数と収縮期血圧は 4 時間後に有意に増加した (MAK (DFG) (2014))。 (3) 致死的な職業性中毒は比較的まれである。しかし、嘔吐と下痢を主症状とする軽度の症例は、化学加工業者や殺虫剤散布業者では珍しくない。本物質の急性中毒で死亡した患者の剖検では、心臓右側の著明な拡張、軽度の肺水腫、出血性胃炎、大部分の内臓の急性受動性うっ血、脳浮腫、著明な腎充血が認められた (ACGIH (7th, 2001))。 (4) 本物質は心拍数と血圧に影響を与え、低用量では刺激作用が支配的である。さらに、消化管及び中枢神経系に作用する。毒性用量では、中枢刺激に続いて抑制、例えば呼吸の中枢抑制が起こる。約 60 mg はヒトに致死的であり呼吸麻痺により数分後に死亡する (MAK (DFG) (2014))。 (5) 本物質は、多くのニューロンに存在するいわゆるニコチン受容体に結合する。そこで、用量に依存して、心血管系、中枢神経系及び消化管に異なる反応を誘導する。ニコチンは血液脳関門を容易に通過できる (MAK (DFG) (2014))。 (6) 本物質の職業ばく露の TLV-TWA 0.5 mg/m <sup>3</sup> が推奨される。この値は、吐き気、嘔吐、下痢、出血性胃炎等の消化管障害、血圧及び心拍数の増加等の心血管作用、頭痛、めまい、抑うつ、呼吸、高血圧、発汗、流涎等の中枢神経系への有害作用の可能性を最小限に抑えることを目的としている (ACGIH (7th, 2001))。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	【分類根拠】データ不足のため分類できない。【参考データ等】(1) ラットのエアロゾル鼻部吸入ばく露試験 (雄: 最大 35 日間、雌: 約 70 日間) では、10 µg/L で肝細胞の壊死や水腫性変性がみられたとの報告が 1 件のみある (REACH 登録情報 (Access on October 2020))。 (2) 本物質の慢性的な消費は中毒や依存をもたらす可能性がある (HSDB (Access on June 2020))。 (3) ウサギに致死量に近い用量を 80 日間投与したところ、網膜神経節細胞の変性に起因する散瞳と光に対する瞳孔の反応不良が生じたとの報告がある (HSDB (Access on June 2020))。
誤えん有害性	【分類根拠】データ不足のため分類できない。

## 12. 環境影響情報

ニコチン	
水生環境有害性 短期(急性)	甲殻類(オオミジンコ)48時間 EC50 = 3 mg/L(REACH登録情報, 2020)であることから、区分2とした。新たな情報の使用により、旧分類から分類結果が変更となった。
水生環境有害性 長期(慢性)	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(BIOWIN)、藻類(イカダモ)の72時間 NOEC = 3.2 mg/L(REACH登録情報, 2020)から、区分に該当しないとなる。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(BIOWIN)、甲殻類(オオミジンコ)の48時間 EC50 = 3 mg/L(REACH登録情報, 2020)から、区分2となる。以上の結果を比較し、区分2とした。新たな情報の使用により、旧分類から分類結果が変更となった。
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

## 13. 廃棄上の注意

- 化学品(残余廃棄物) : 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明示して処理を委託する。
- 汚染容器及び包装 : 容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。  
空容器は地域の条例に準拠してリサイクル、再利用または廃棄する必要がある。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

## 海上輸送(IMDG)

- 国連番号(IMDG) : 1654
- 正式品名(IMDG) : NICOTINE
- 容器等級(IMDG) : II
- 輸送危険物分類(IMDG) : 6.1
- 危険物ラベル(IMDG) : 6.1
- クラス(IMDG) : 6.1
- 区分(IMDG) : 6.1
- 少量危険物(IMDG) : 100 ml
- 微量危険物(IMDG) : E4
- 包装要件(IMDG) : P001
- IBC包装要件(IMDG) : IBC02
- 積載区分(IMDG) : A
- 特性および観察結果(IMDG) : Thick colourless oil, turning brown on exposure to air. Miscible with water. Toxic if swallowed, by skin contact or by inhalation.
- 緊急時応急措置指針番号 : 151

## 航空輸送(IATA)

- 国連番号(IATA) : 1654
- 正式品名(IATA) : Nicotine
- 容器等級(IATA) : II
- 輸送危険物分類(IATA) : 6.1
- 危険物ラベル(IATA) : 6.1
- クラス(IATA) : 6.1
- 区分(IATA) : 6.1
- PCA微量危険物(IATA) : E4
- 特別管制区(PCA)少量危険物(IATA) : Y641
- 特別管制区(PCA)数量限定物の最大積載量(IATA) : 1L
- PCA包装要件(IATA) : 654
- 特別管制区(PCA)最大積載量(IATA) : 5L

CAO 包装要件(IATA)	: 662
貨物機専用(CAO)最大積載量 (IATA)	: 60L
ERG コード (IATA)	: 6L
<b>海洋汚染物質</b>	: 該当
<b>国内規制</b>	
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号	: 151
<b>特別な輸送上の注意</b>	: 運搬に際しては、容器の転倒、損傷、落下、荷崩れ等しないように積み込み、漏出のないことを確認する。

## 15. 適用法令

### 国内法令

労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) ニコチン(政令番号: 413)
毒物及び劇物取締法	: 毒物(法第2条別表第1) ニコチン
消防法	: 第4類引火性液体、第三石油類水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1・第4類)
外国為替及び外国貿易法	: 輸出貿易管理令別表第1の2項 輸出貿易管理令別表第1の16の項
船舶安全法	: 毒物類・毒物(危規則第2、3条危険物告示別表第1)
航空法	: 毒物類・毒物(施行規則第194条危険物告示別表第1)
港則法	: その他の危険物・毒物類(毒物)(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)
道路法	: 車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	: 非該当

## 16. その他の情報

参考文献	: 17322 の化学商品(化学工業日報社) 国際化学物質安全性カード(ICSC) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE) ERG2020 版 緊急時応急措置指針(日本規格協会)
その他の情報	: この SDS は林純薬工業株式会社の著作物です。当該製品の化学物質製品を取り扱う事業者に対して提供するものであり、安全を保証するものではありません。現時点における当該化学物質の情報を全て検証しているわけではありません。当該化学物質について常に未知の危険性が存在するという認識で、製品運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先して使用者自己の責任においてご使用下さい。当該化学物質を使用する際は、使用者自ら安全情報を収集すると共に使用される場所・機関・国などの、法規制等については使用者自ら調査し最優先させてください。国または地方の規制についての調査は、当社としては行いかねますので、この問題については使用者の責任で処理願います。当該物質の日本語による SDS と他国言語にて翻訳された SDS が存在する場合、内容の相違があるなしに関わらず日本語で記述された文書が優先され他国言語による文書は参考文書とします。